



家庭ごみの有料化について

審議始まる



審議会は公開。ぜひ傍聴してください。
(那覇市役所4階庁議室)

那覇市一般廃棄物対策推進審議会 会長に桜井氏(沖大教授)を選任

去る、6月19日、那覇市一般廃棄物対策推進審議会の委員へ辞令を交付しました。交付後、市長から家庭ごみ有料化について諮問を受け、審議に入り、会長に桜井国俊氏(沖縄大学文学部教授)、副会長に藤田陽子氏(琉球大学法文学部講師)が選任されました。

6月、7月、8月、9月に審議会を開き、10月に家庭ごみの有料化について市長に答申する審議計画が承認されました。家庭ごみの有料化については、市民にとつても関心のあることから審議会は、議事の傍聴や議事録を公開することによって、常に情報公開に努め透明性を確保することを確認しました。

委員は次の通りです。(敬称略)
桜井国俊(沖縄大学教授)、新崎信子(那覇市婦人連合会)、大城昌三(那覇市自治会長連合会会長)、高良一雄(那覇市クリーン指導員連絡協議会会長)、福岡智子(沖縄リサイクル運動市民の会事務局)、根間為吉(那覇清掃協会相談役)、久田友弘(沖縄県環境整備課課長補佐)。
長)、渡久山章(琉球大学教授)、藤田陽子(琉球大学講師)、上原今日子(那覇青年会議所)、高良繁美(那覇市国際大通り商店街振興組理事長)、渡久地英男(那覇商工会議所事務局長)。

遊び庭

家庭ごみの約36%を占める生ごみも、その90%は食べ残しや賞味期限切れの食品です。こまめに冷蔵庫の中をチェックするだけでごみを減らせます。



都会の中の野菜畑。小波津さん宅屋上

このままで肥料に
那覇市若狭一丁目
小波津さん
自宅の屋上で家庭菜園。
「生ごみは家庭菜園で肥料に使っています。ほとんどごみに出すことはありません」
と小波津さん。現在は、ゴーヤー、ナーベラー、ナス等夏野菜を栽培。冬は葉野菜を中心に栽培するそうです。「自分で作った野菜は格別な味」だそうです。

生ごみ処理機

那覇市三原三丁目
大仲さんご夫妻

昨年5月那覇市の助成を受け、生ごみ処理機を購入。

「購入後、生ごみをゴミに出したことはありません。庭の肥料に使っています。ごみの量も大分減りました。しかし、できた肥料が硬めで自分のイメージとは違いました。今は、販売店の説明を受けながら試行錯誤しているところです」

生ごみ処理体験談



「臭いも全くしません」。生ごみ処理機の前で大仲さんご夫妻

わが家のごみ減量

ごみ減量の基本は4つの行動理念(4R)

1 はじめに(リヒューズ) いらぬ物は断る



買い物の際にもらうレジ袋はすぐにごみになります。買い物にはマイバックを持参しましょう。

2 つぎに(リデュース) 減らす



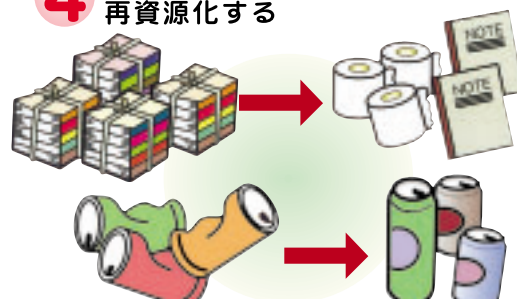
調味料、洗剤などは詰替商品を利用し、容器は繰り返し利用しましょう。

3 そして(リユース) 再利用する



何度でも繰り返し使うことができる容器を進んで購入しましょう。

4 最後に(リサイクル) 再資源化する



リサイクル商品を使って初めて資源の有効利用につながります。